

祇園の姉妹 (1936)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 69分

初公開日 1936/10/15

公開情報 松竹キネマ

【解説】

溝口健二が自らの原作を監督した、最高傑作と評される人間ドラマ。依田義賢が脚色を担当。山田五十鈴と梅村蓉子が対照的な姉妹を見事に演じ分けた。残念ながら一部のフィルムが消失してしまっている。1956年に同名で再映画化された。

人情に厚く男に尽くす姉の梅吉と、気が強く男から金品を得ようとする妹のおもちゃ。二人は京都で有名な芸妓の姉妹だった。ある日、梅吉の世話をしていた古沢が二人に家に転がり込んできた。姉が留守なのを良いことに、今や破産し無一文となっていた古沢を、おもちゃは追い出してしまう。二人はそれぞれ男を相手に商売を続けるが、現実は厳しく、やがて男に裏切られ惨めに捨てられてしまう。

【クレジット】

監督 溝口健二

原作 溝口健二

脚色 依田義賢

撮影 三木稔

編集 板根田鶴子

助監督 高木孝一

森一生

坂本明 [演出]

出演	山田五十鈴	芸妓おもちゃ
	梅村蓉子	姉芸妓梅吉
	久野和子	夫人おみえ
	大倉文男	骨董屋聚楽堂
	深見泰三	呉服屋の番頭木村保
	いわま桜子	工藤夫人おまさ
	林家染之助	古沢の番頭定吉
	葵令子	芸妓の梅龍
	滝沢静子	扇屋の女将お千代
	橘光造	運転手・立花
	三柘源女	定吉の女房おはん